

# 平成21年度予算の内示状況 及び重点復活要望事項

平成20年12月20日

総 務 省

# 科学技術関係予算の内示額及び復活要求額

(単位：億円)

	平成20年度	平成21年度				平成20年度		
	当初予算	概算要求額	当初内示額	復活要求額	合計	一次補正	二次補正	補正合計
総額	708 〔492〕	758 〔507〕	672 〔478〕	37 〔4〕	709 〔482〕	13 〔0〕	42 〔0〕	55 〔0〕
うち科学技術振興費								
情報通信関係	700 〔486〕	748 〔500〕	664 〔472〕	37 〔4〕	701 〔476〕	11 〔0〕	42 〔0〕	53 〔0〕
うち科学技術振興費								
消防防災関係(消防庁)	8 〔6〕	10 〔7〕	8 〔6〕	0 〔0〕	8 〔6〕	2 〔0〕	0 〔0〕	2 〔0〕
うち科学技術振興費								

## 【概算要求の基本スタンス】

政府全体<sup>注1)</sup>及び総務省<sup>注2)</sup>の科学技術政策を踏まえ、情報通信技術(ICT)分野における国際競争力の強化、地球温暖化への対処も含めた社会・生活基盤の充実、消防防災分野も含むさらなる国民の安心・安全の確保を重点に、技術課題を峻別し、研究開発を推進。

- 注1) ・第3期科学技術基本計画(閣議決定(H18.3))  
 ・革新的技術戦略(総合科学技術会議決定(H20.5))  
 ・環境エネルギー技術革新計画(総合科学技術会議決定(H20.5))

注2) Ubiquitous Network Society研究開発戦略プログラムⅡ(情報通信審議会答申(H20.6))

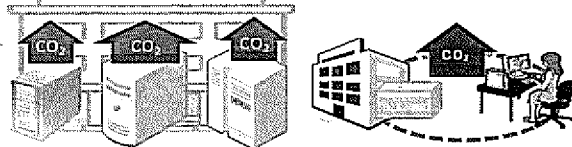
# 重点復活要望事項

## ICTによる低炭素社会の実現【復活要求額:17億円】

ICTの活用により一般家庭における消費エネルギーを抑制するホームネットワーク技術等の研究開発を推進するとともに、ICT利活用によるCO2削減効果の評価手法を確立し、その国際標準化を推進する。

### CO2排出量削減評価方法の確立

- 低炭素社会実現ICT推進事業
  - ・ ICT利活用によるCO2排出量、削減量の評価方法を確立。国際標準化を目指す。

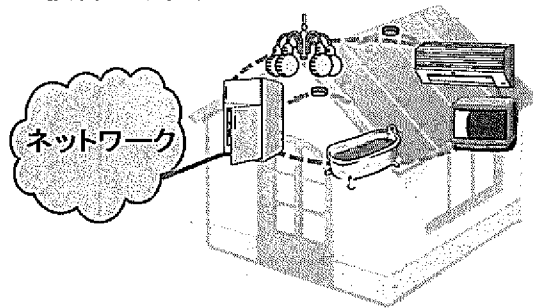


データセンタ等の環境対応

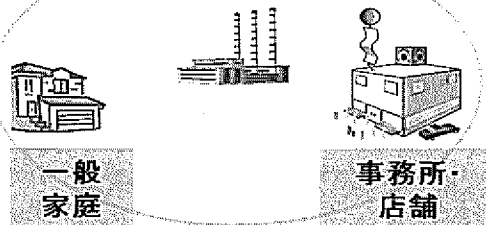
テレワーク等の利活用

### エネルギー利用効率の改善

- 消費エネルギー抑制ホームネットワーク技術の研究開発



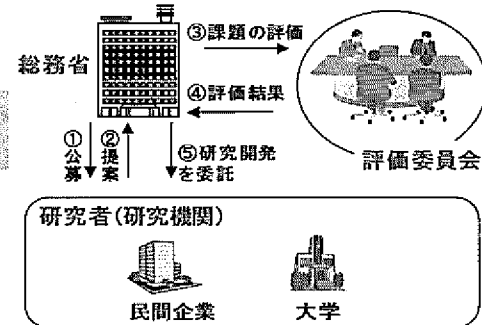
生産・流通・  
輸送



ICT分野の研究開発・  
利活用

### 総合的な研究開発の支援

- 地球温暖化対策ICTイノベーション推進事業  
(競争的資金制度)



ICT分野の研究開発への支援及び利活用の普及促進を  
図ることにより、地球温暖化問題へ貢献

# 重点復活要望事項

## ○ICT先進事業国際展開プロジェクト【復活要求額:20億円】

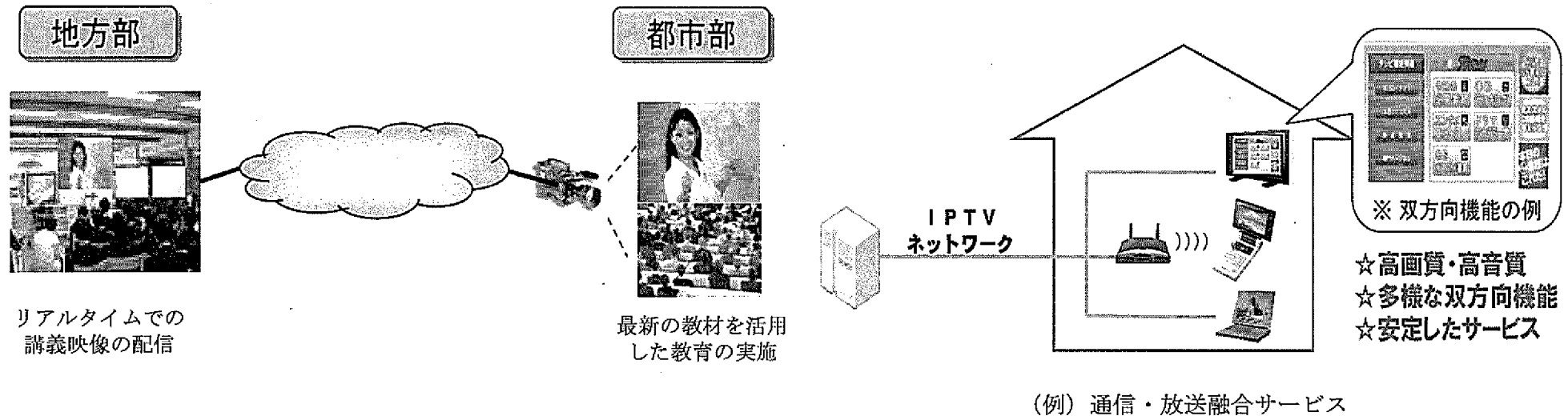
ICT重点分野の国際展開活動を加速化するとともに、我が国の高度なICTインフラを活用した新規分野における国際展開を戦略的に進めるための実証実験を実施し、ICT産業の国際競争力強化や成長力強化を推進する。

### (1) 途上国向けモデル事業の実施

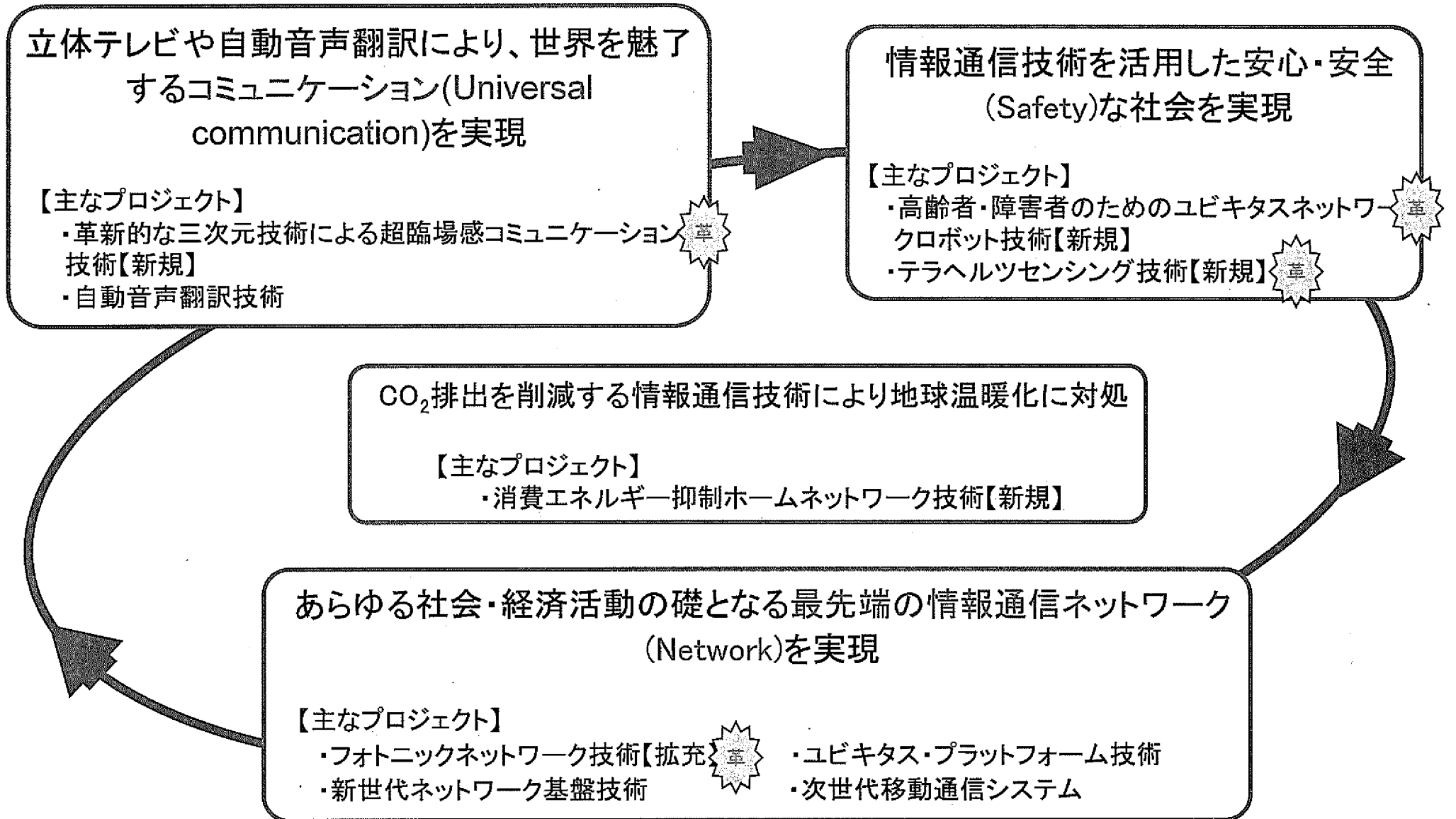
途上国の社会・経済ニーズに対応したモデルシステム（遠隔教育システム、無線を活用した防災システム等）を構築し、我が国システムの導入促進を目指す。

### (2) 先進実証実験等の実施

我が国の高度なICTインフラを活用した新規分野（通信・放送融合サービス等）において、世界に先駆けて先進的な実証実験を実施し、新規ビジネスの創出、我が国主導の国際標準化活動、海外普及支援活動の一層の推進を図る。



# 情報通信技術(ICT)分野の研究開発の重点領域



「革新的技術戦略(総合科学技術会議決定(H20.5))」において革新的技術とされた研究開発課題

# 参考 平成21年度予算要求の主な技術戦略プロジェクトの概要(1)

## 世界を魅了するコミュニケーションを実現

### ○三次元映像による超臨場感コミュニケーション技術【新規:11.4億円】

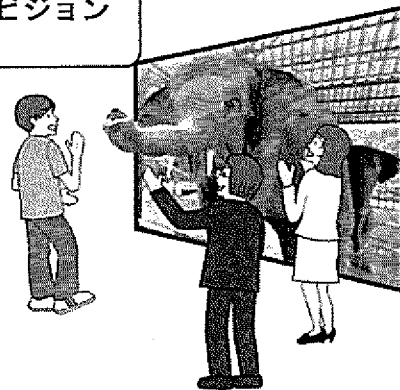
真にリアルで、人間に優しく、心を豊かにするコミュニケーションを可能にする革新的な三次元映像技術、並びに、三次元映像技術と一体的に利用される立体音響技術、五感情報伝達技術等の超臨場感コミュニケーション技術を実現する研究開発

電子ホログラフィ技術

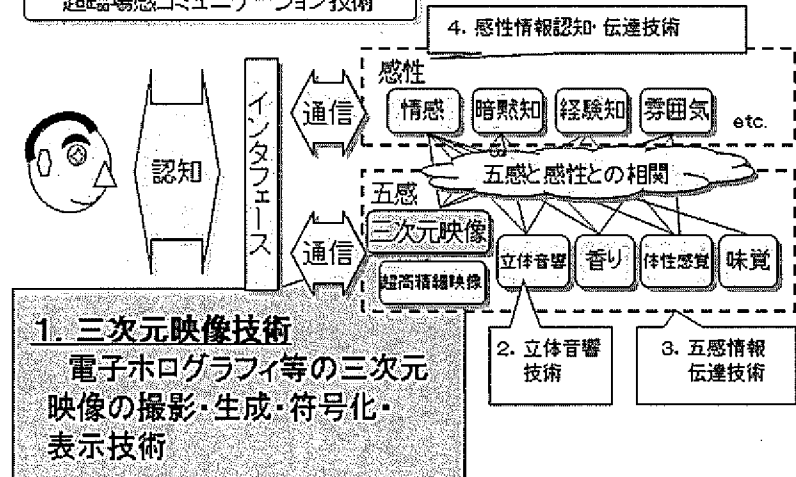


立体ビジョン

超並列像再生型立体ビジョンシステム



超臨場感コミュニケーション技術

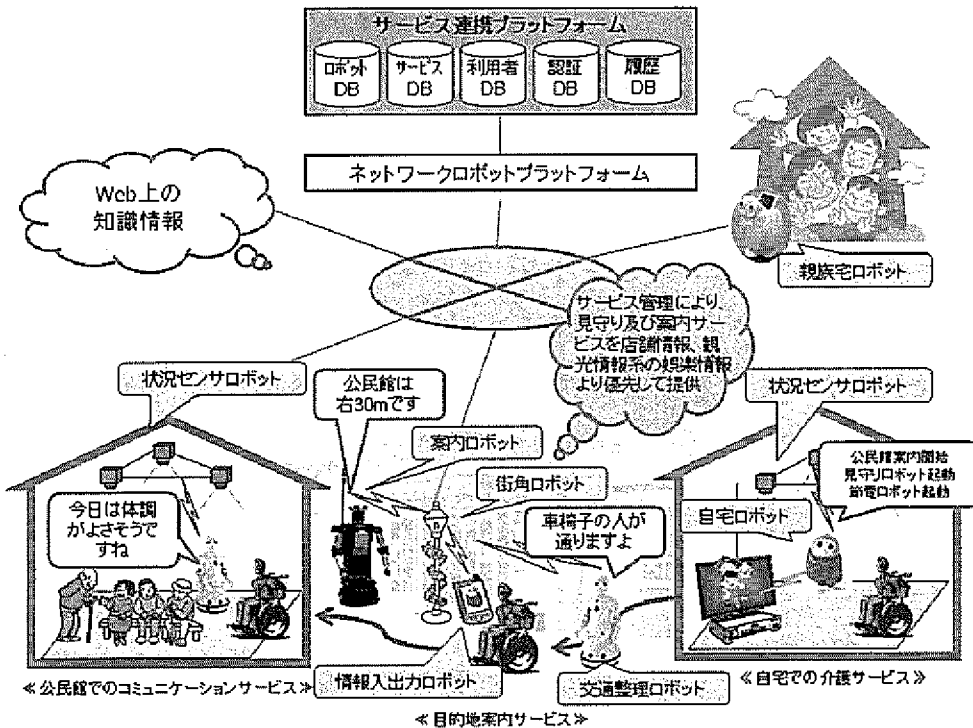


# 参考 平成21年度予算要求の主な技術戦略プロジェクトの概要(2)

## 安心・安全(Safety)な社会を実現

### ○高齢者・障害者のためのネットワークロボット技術 【新規:5.5億円】

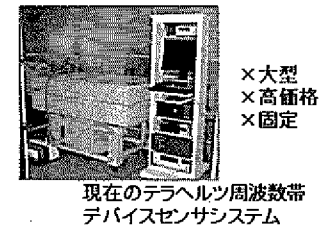
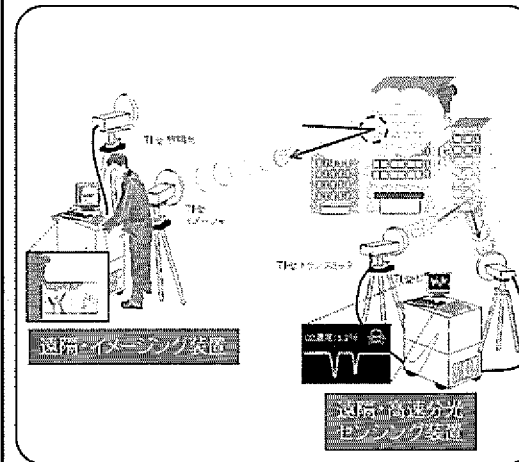
少子高齢化社会における様々な社会的課題等の解決に資するため、ロボットとユビキタスネットワーク技術との一層の融合を図り、特に高齢者や障害者を対象としたサービスに必要なネットワークロボット機能を実現する研究開発



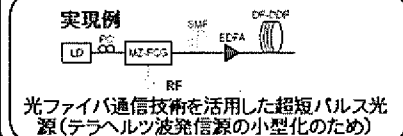
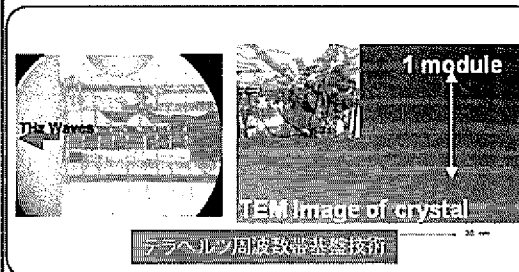
### ○テラヘルツ波技術に関する研究開発

【新規:4.0億円】

電波と光の性質を併せ持つテラヘルツ波により、X線や赤外線、電波など他の電磁波周波数帯では困難であった分析等を実現するための基盤技術を確立する研究開発



小型化  
高性能化



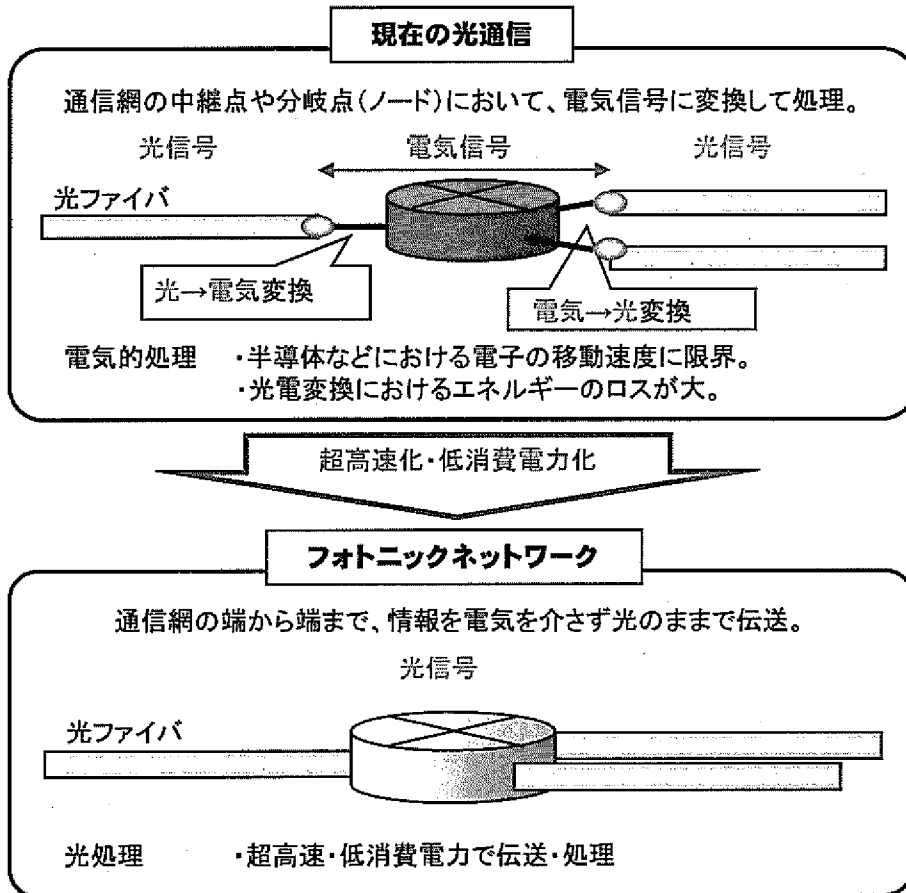
# 参考 平成21年度予算要求の主な技術戦略プロジェクトの概要(3)

## 最先端の情報通信ネットワーク(Network)を実現

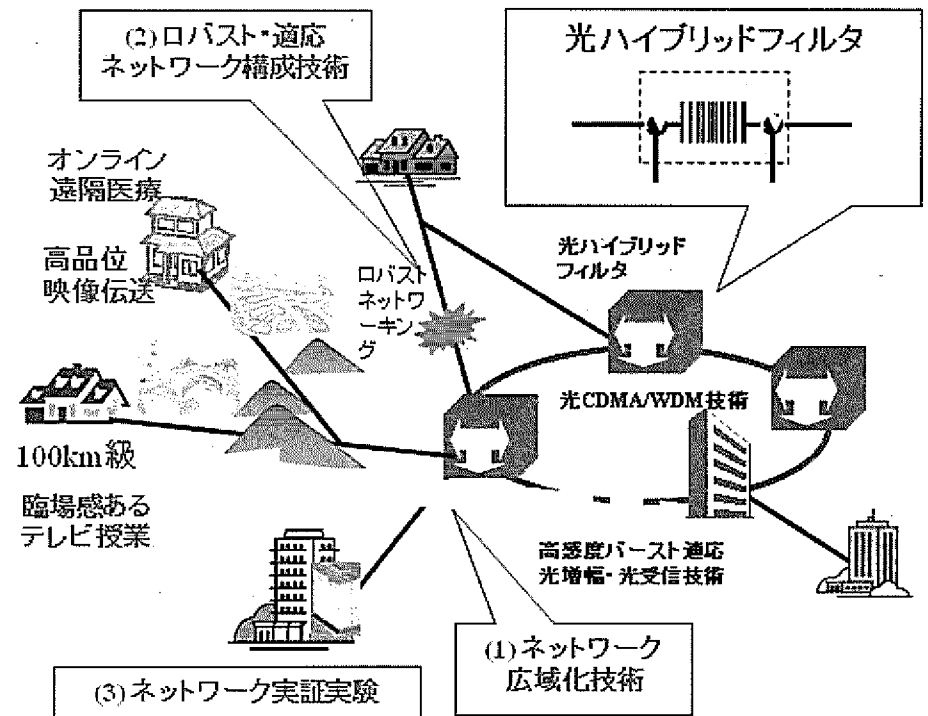
### ○フォトニックネットワーク技術

【拡充:36億円】

急速に進展するブロードバンド環境や映像等のコンテンツ利用の拡大に対応したネットワークの大容量化・高機能化を実現するためのオール光信号処理等の研究開発



広域加入者系光ネットワーク技術に関する研究開発(拡充した課題)

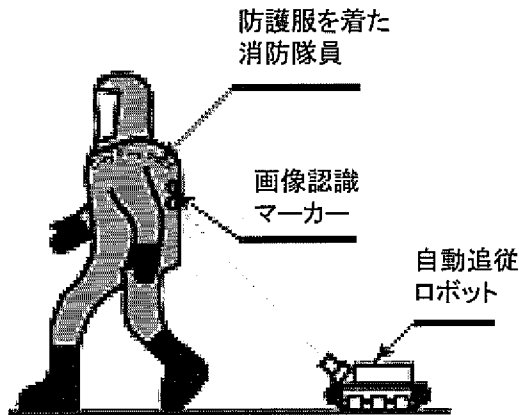


# 参考 消防庁における科学技術関係の主な施策

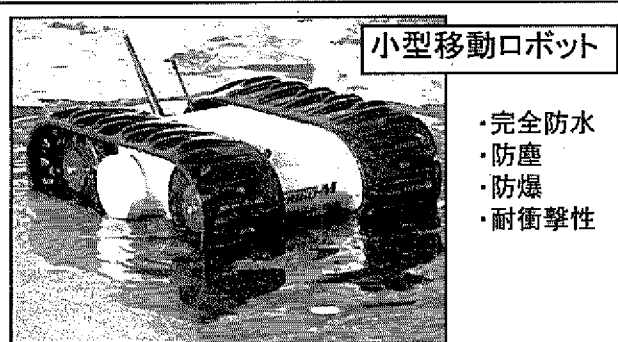
## 消防防災分野における国民の安心・安全の確保

### 特殊災害に対する安全確保に関する研究 【0.5億円】

特殊災害等における消防隊員の安全を確保するために、消防隊員が進入できない空間で作業できる消防支援活動ロボットの研究等

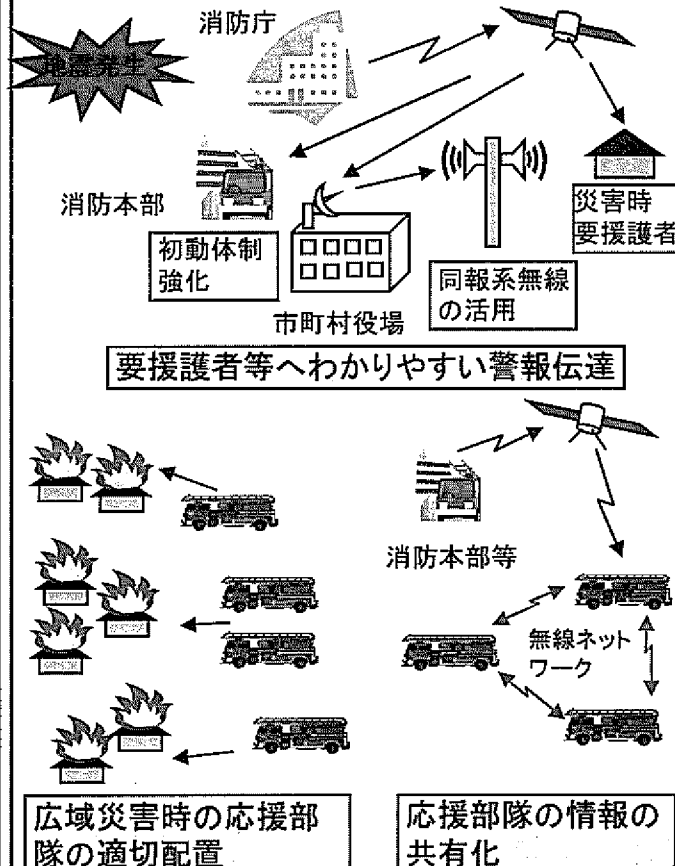


### 資機材搬送等のための自動追従技術の開発



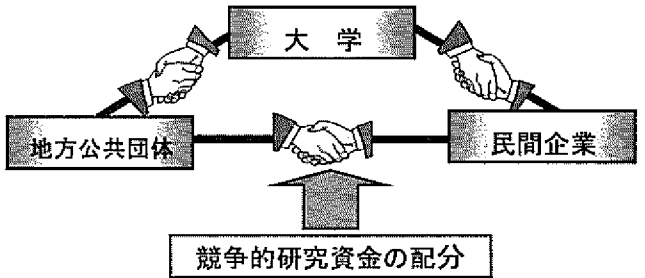
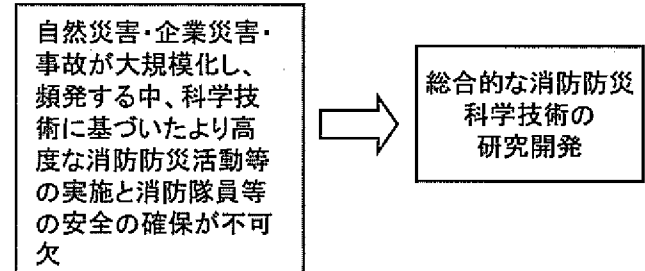
### 大規模自然災害時等の消防防災活動に関する研究 【0.5億円】

大規模自然災害発生時の情報伝達、消防部隊の円滑な運用等、消防防災活動を支援する総合システムの研究開発



### 消防防災科学技術研究開発制度 (競争的資金) 【2.8億円】

消火・救急・救助活動に関する科学技術の高度化、災害対応策への情報化の促進、環境保全の推進等について、総合的に消防防災科学技術に係る研究を促進することを目的



- ①PD(プログラムディレクター)・PO(プログラムオフィサー)による制度の円滑な運営
- ②「現場ニーズ対応型研究開発」枠、「テーマ設定型研究開発」枠課題の重点化
- ③成果のフォローアップと普及の促進